

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input checked="" type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石英児
	全体計画	平成31年度	～	令和 2年度	経費区分	—	内線	3137
事務事業名	14311 第六次須坂市総合計画策定事業							
所 属	050200 総務部・政策推進課							
施 策	17024500 長期的展望に立った財政運営							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費						
	事業	980000 第六次須坂市総合計画策定事業						
事業目的				事業概要・効果				
<p>第五次総合計画の計画期間が令和2年度で終了するため、令和3年度を初年度とする第六次須坂市総合計画を策定する。                  (既存の行政計画である国土利用計画、まちひととご創生総合戦略については総合計画に統合する)</p>				<p>第六次総合計画は、第五次総合計画と同様に基本構想(10年)・基本計画(5年)・実施計画(3年)の三階層とし、基本構想では市の将来像、まちづくりの基本姿勢、施策の大綱を定め、基本計画では、基本構想に定める将来像を実現するための施策を体系づける。</p> <p style="text-align: center;">時代の潮流を的確に捉え、社会環境の変化や住民ニーズの多様性を的確に分析し、今後の施策方針を具体的に示した計画とするとともに、多くの市民意見を吸い上げつつ職員の知恵と創意により、市民と行政の協働の指針となる計画策定を目指す。</p>				

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
基本構想を作成するとともに、市内団体等とのヒアリングやパブリックコメントなどを行い、第六次総合計画前期基本計画を作成する。	※令和2年度で事業終了
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		3,383	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,383	0
人員数(人)	正規職員	0.7	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,877.6	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,877.6	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.0
総額		8,260.6	0.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	134	審議会委員報酬134
10節 需用費	608	印刷製本費608
12節 委託費	2,605	計画策定業務委託2,605
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	36	費用弁償36

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	効率的かつ効果的な行政運営を進める上で、長期的視点を明確に定め、市民・企業・活動団体・行政がその方向性を共有することは極めて重要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	効率的かつ効果的な行政運営を進める上で、長期的視点を明確に定め、市民・企業・活動団体・行政がその方向性を共有することは極めて重要である。策定し、計画に沿って各施策に関連する事業を進めることが基本構想に掲げる将来像の実現に寄与する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	策定については一部業務委託とし実施することで、膨大な関連調査業務や資料作成に要する時間が短縮でき、本来時間をかけて検討しなければいけない部分の業務に専念が可能である。結果として、実効性のある計画策定が可能となる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
特筆事項なし。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>総合計画審議会による活発な議論と庁内各課等の連携により、策定当初に定めた策定方針に沿い、10年間の基本構想と5年間の基本計画について、分かりやすく実効性のある計画策定ができた。</p>		<p>社会環境の変化や住民ニーズの多様性を的確に分析し、市民意見を吸い上げつつ職員の知恵と創意により、市民と行政の協働の指針となる計画策定ができた。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	